

ふくおか県芸術文化祭2025

第33回短歌大会

第25回 福岡県ねんりんスポーツ・文化祭短歌交流大会

○2025年10月26日（日）12時30分から17時 ○クローバープラザホール ○入場無料

講演 歌人 黒瀬珂瀾先生

「つながるための現代短歌ー福岡の記憶とともにー」

主催 ふくおか県芸術文化祭2025第33回短歌大会実行委員会

共催 ふくおか県芸術文化祭実行委員会、福岡県、福岡県教育委員会

福岡県ねんりんスポーツ・文化祭実行委員会、福岡県文化団体連合会

後援 福岡市、北九州市、春日市、春日市教育委員会、福岡文化連盟、福岡市文化芸術振興財団

優秀作品は「第33回 短歌大会」会場にて講評と表彰をお受けいただけます。
大会出詠者全員に応募作品掲載の「作品集」を進呈いたします。

短歌募集

応募規定

◇資格 福岡県内居住者および県内への通勤通学者など
(ただし、他県居住者でも福岡県歌人会に所属していれば応募できます。)

◇作品 1人3首以内(自作未発表作品に限る)

◇用紙 指定用紙を使用(同一サイズのコピーでも可)
歌人会ホームページからダウンロードできます。

<https://www.kajinkai-fukuoka.com/>

◇応募期間 2025年6月2日(月)～7月11日(金) 当日消印有効

◇応募料 1首につき1000円 3首まで応募できます。
郵便小為替を同封するか、次の口座へ振替または振込をしてください。

記号番号 17400-76886311 福岡県短歌大会実行委員会
または、

ゆうちょ銀行 七四八(ナナヨンハチ)支店 普通7688631

*同封の小為替には何も記入しないでください。

◇応募先 〒804-8799 戸畑郵便局留 ふくおか県芸術文化祭短歌大会実行委員会



選者

◎黒瀬珂瀾 ◎桜川冴子 ◎山下翔 ◎植村隆雄 ◎西城輝子 ◎内藤賢司

クローバープラザ経路案内図



クローバープラザへのアクセス

JR春日駅から徒歩2分、
西鉄春日原駅から徒歩9分

所在地

〒810-0001
春日市原町3-1-7
TEL: 092-584-1212

問合せ先

ふくおか県民文化祭
短歌大会実行委員会事務局

TEL 0940-33-2374
Fax 0940-33-2374(中村)
Mail kajinkai000@gmail.com

ふくおか県芸術文化祭2025第33回短歌大会

日時	2025年10月26日(日)	12:30~17:00
会場	クローバープラザ1階	クローバーホール
日程	12:30 開会	
	主催者、来賓、講師紹介	
	主催者挨拶	
13:00	特別賞表彰	
13:20	歌集賞表彰	講評 桜川冴子
14:00	選歌講評	
選者	黒瀬珂瀾	桜川冴子 山下翔
	植村隆雄	西城輝子 内藤賢司
(休憩)		
15:15	講演	黒瀬珂瀾氏「つながるための現代短歌ー福岡の記憶とともにー」
17:00	閉会	

黒瀬珂瀾(くろせ・からん)氏プロフィール

1977年 大阪府生まれ。春日井建に師事。
未来短歌会選者、読売歌壇選者。富山市の願念寺住職。
2017年 NHK短歌選者を務めた。

2011年にロンドンに在住した後、2012年から13年に福岡在住。

『黒耀宮』(ながらみ書房、2002年)

序文：春日井健 ながらみ書房出版賞受賞

『街角の歌』(ふらんす堂、2008年) ふらんす堂HP上の連載をまとめたもの。

『空庭』(本阿弥書店、2009年) 解説・岡井隆

『蓮喰ひ人の日記』(短歌研究社、2015年) 前川佐美雄賞受賞

『ひかりの針がうたふ』(書肆侃侃房、2021年) 若山牧水賞受賞

「ひかりの針がうたふ」は福岡在住の時に作られた歌集。福岡の景物も多く登場し、子育ての様子などが生き生きと詠まれている。5首を紹介する

父われの胸乳をひたに捻りゐる娘よ黄砂ふる夜がくる

「おい、いぼつた」と叫ぶ上司を引き抜きて泥の塩気は口に届きつ

関門へ流るる海に十月のひかりの針がうたふ靈歌よ

やねのむかういつちやつたね、と手を振る児よ父に飛行機はまだ見えてゐて

香椎潟にゆふやみ降れば魚たちの飛び跳ねやまず名は分かねども



令和6年度短歌大会の特別賞の主な作品

【福岡県知事賞】

列車の扉開あくたび畦の草匂ひ泥田にほひてふるさと近し

北九州市 五所美子

【ふくおか県芸術文化祭実行委員会会長賞】

広報紙の音訳終ふれば黄昏れて温もりしみくる茶のひと口に

鞍手郡 矢野百合子

【福岡県ねりんスポーツ・文化祭大会会長賞】

夕映えの退きたるのちも畦を塗る虎吉さんに田の水ひかる

大牟田市 西山博幸

【福岡県教育委員会賞】

手を繋ぎ踊るようなるアラビアの文字の伝える死者の名あまた

糟屋郡 宇野美登里

【福岡県文化団体連合会会長賞】

紙いっぱい幼おさなの書いたひらがなに紙いっぱいの花まる付ける

行橋市 中本昭恵

【福岡県短歌大会実行委員会賞】

今日ひと日苗植えし手のこわばりもほのぼのほぐる夜半の湯船に

田川郡 原田エリ子

【福岡市長賞】

手術せし目に点薬を差し終へて秋のひかりの畑に種子蒔く

築上郡 佐々木功

【福岡市教育委員会賞】

夫逝きてもう泣くことは無いだろう工芸展に観る涙壺

久留米市 栗林喜美子

【福岡文化連盟賞】

軽トラで中学校へ父が来て恥じたわたしをいま恥じている

福岡市 重松美智加